

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 九州自動車産業開発株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用条件において差別しない体制を整え、公平な仕組みを構築している。 ・各種ハラスメントの禁止について定期的な研修を受講している。 ・職種・職業差別的無いよう取り組んでいる。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3									16.1 16.2 16.7
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・就業中の自動車事故撲滅に向け朝礼での声掛けを実施している。 ・始業前の就業場所の危険箇所、異常の有無の確認を実施している。			3					8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を実施している。					5.5			8.5		10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・時差出勤による労働時間の短縮に取組み残業時間の管理を徹底している。 ・有給休暇を取得しやすい環境づくりと取得推奨を行っている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・店舗異動や一時的な他店舗研修を設け多様性向上の為の教育実施、個人の能力強化を図っている。				4	5.5			8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健康診断、インフルエンザ予防接種の経費補助を行っている。 ・定期健診実施後、社員一人ひとりが受診結果を真摯に受け止め、自ら改善健康増進に努めるよう促している。			3					8											17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・対応業務や昇進、昇格に性別による差別はない。 ・定年後の再雇用制度を導入している。 ・一人ひとりの多様性を受容できるように社員の意識改革とリスペクトの重要性を積極的に教育する。新しいアイデアが生まれやすくなり、多様化するニーズに対応出来るようにしている。 ・高齢者は貴重な人材であるが、自動車運転業務においては昨今の事故報道等を踏まえ、或る年齢において個別相談し、運転以外の業務転換等、互いに「合致」できるよう配慮している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3									16.7
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・テレワーク可能な職種においては既に導入済み。新型コロナウイルスが収束するしないに関わらず、働き方改革の一環とみなし、創意工夫、継続している。			3						8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		基本的にカーレンタルを主体としてきたが、並行して、WEBにて完結するカーシェア業務比率加速中。人手介在は車両配備のみへと移行している。									8	9.1		11	12						
21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●					3	4					8	9			12							

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 九州自動車産業開発株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・有害物質、排出ゴミについては専門業者に依頼し適切に処理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・給油カードの統一により燃料給油量をデータ化し把握、削減に向けた取組を実施している。 ・LEDを積極的に導入電力削減実施している。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・CO2簡易排出量計算シートを用いて算出、前年比率によるマイナス目標を設置した取組の実施、車のアイドリング廃止を実施している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・エコバック推奨、レジ袋利用を廃止し環境保全に努めている。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・紙コップの廃止、マイカップ利用へ切替へゴミ削減を実施している。 ・ペーパーレス化の促進を実施、新型複合機を導入しデータ移行を行っている。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・洗車時の節水へ意識的に取り組み、使用量のチェックを実施している。 ・汚水樹を設置し汚泥の流出を防止している。 ・洗車時の洗剤は天然油脂原料の石鹸を使用し、水質汚染防止に努めている。			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・グリーン購入を実施、環境保護に努めている。 ・コピー用紙は再生紙へ切替を行っている。											9.4		12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・社員レベルにて、各家庭での食品ストックや買い物頻度のアイデアを出し合い、具体的な取組を行っている。		1	2				6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・事務所内に植栽等を多く配置し、空気環境測定値が上昇し、自然でグリーンな状態を保つように努めている。												11.6 11.7		13.1 13.3			15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6						9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●			・エコバッグを各拠点に配備し、社用の購買等における使用を促進している。													12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●			・一部分であるが通勤に公共交通機関を利用している。										9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●			・LEDの積極的な導入や給油燃料等の削減、車のアイドリング廃止等により排出量の削減に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2	

